【論文・報告・研究紹介　執筆要領】

本文は，「論文」・「報告」・「研究紹介」作成の執筆要領ですので，本要領の書式に従ってください。

本学会のホームページ（http://www.jpci.or.jp/）に【原稿執筆要領】，【原稿書式】および【送りがな・技術用語】が掲載されていますので，ダウンロードして原稿執筆の参考にしてください。

「論文」・「報告」は，未発表のものに限ります。また，「論文」・「報告」と「研究紹介」は審査規定が異なりますので，原稿区分を十分に検討し，推敲した原稿を提出してください。「研究紹介」は，現在実施している研究活動や成果を紹介するものです。内容に関する査読は行いません。新規性は問いませんので，すでに他所で発表したものでも結構ですし，現在実施中の完成途上の研究の紹介でも結構です。ただし，体裁に関してはチェックを行います。また，商品の紹介など宣伝色の強いものは不採用となることがあります。

１．データ書式

原稿は，PDF ファイルで提出していただきます。ファイルサイズは**論文の場合には 3.0ＭＢ以内とし，印刷した場合のページ数がＡ４判・４または６ページ**となるよう原稿を作成してください。また，**報告と研究紹介の場合にはファイルサイズは 2.0ＭＢ以内とし，印刷した場合のページ数がＡ４判・４ページ**となるよう原稿を作成してください。これを超えた原稿は，「論文」・「報告」・「研究紹介」とも受け付けられません。また，投稿するファイルは PDF 形式とし，圧縮ツールは使用しないでください。

なお，汎用の PDF ソフトではなく，Adobe 社の Adobe Reader（アドビシステムズのホームページよりダウンロードできます）を用いて執筆者の意図したとおりに PDF ファイルの原稿が印刷されることを確認してください。特に，PDF データに変換する際，文字化けやフォント化けが発生していないこと，規定ページ数が超過していないことを完成データで十分に確認してください。

PDF 化にあたっての解像度の設定は制約を設けません。上記のファイルサイズ以内に納まるかぎり執筆者の自由としますが，印刷版論文集は白黒印刷のため，白黒印刷で出力しても明瞭に確認できる配色にしてください。さらに，編集の障害となりますので，PDF ファイルへのパスワードの設定は絶対に行わないでください。

２．用紙設定

A4 判・縦（210×297mm）とし，上余白 25mm，下余白 20mm，左右余白各 20mm を必ず確保してください。上下余白は，柱，ページ記入に必要です。詳しくは後に掲載の書式ページを参照してください。余白が確保されていない場合，図や表が余白にはみ出して配置されている場合，論文集のページなどが原文に重なることがあります。

３．書式

書式は，横書き，48 文字／行，42 行／ページとし，詳細を以下に示します。

① １行目に，題目(ゴシック 12Point)を中心配置で記入してください。**タイトルは全角３５文字以内とし，サブタイトルもこの文字数に含めてカウントしてください。半角文字は使用しないでください。**

② 題目から１行あけて右詰めで,所属,会員区分,学位,執筆者名(ゴシック 10.5Point)を記入してください。執筆者の順序は**発表者，連名者(３名以内)の順**とし，発表者の氏名の前に○を記入してください。**発表者と連名者の所属が同一の場合でも，全員所属の記載が必要です。また，会員でない場合，“非会員”の記載は必要ありません。**なお,「株式会社」などの法人の種別は,(株)のように省略して記入してください(半角のカッコに全角の”株”)。

③ **（ｉ）原稿区分が「論文」の場合**：

１行あけて,英文にて原稿要旨(Abstract)を記載してください。英文による要旨は 10 行(おおむね 120 単語)以内とし，書体は Times New Roman 10pt としてください。原稿要旨の後に英単語にてキーワードを，3～4 つ記載してください。

（ⅱ）原稿区分が「報告」･「研究紹介」の場合：

英文による原稿要旨(Abstract)は不要のため，②の執筆者の下１行をあけて，キーワードを 3～4 つ，１行に収まるように記載してください。

④ １行あけて，**本文(明朝 10.5Point)**を記入してください。なお，本文中の段落のはじまり，図表名および図表のキャプションはゴシック 10.5Point としてください。さらに**句読点には「,」および「。」を使用**してください。

⑤ 文字の書体は，ゴシックと明朝体のみを使用してください。丸ゴシック，ＨＧゴシック等は印刷の際に支障をきたす可能性がありますので使用しないでください。

⑥ 日本語フォントにおけるギリシャ文字（σ δ ε 等）の使用は可能ですが，機種およびフォントに依存する特殊文字（①，②，Ⅰ，Ⅱ，m^2等)，半角カナおよび HG 系のフォントは，文字化けの原因となりますので使用しないでください。

⑦ 本学会の原稿に用いる用語慣例は,**【送りがな・技術用語】に準じますので，よく確認して執筆してください。**

４．表現方法

文字色は黒とします。PDF ファイル内部での図・表・写真の色は黒に限定しませんが，プリンタに白黒で出力した際に問題が生じないように配慮してください。また，原稿はＢ５判で印刷したときに不鮮明にならないように，図および表中の文字サイズに配慮して作成してください。

５．図・表・写真

図・表・写真は，原稿に貼り付けた状態でPDF化することとし，別ファイルにしないでください。**図・表・写真にも，著作権が認められています。他稿から引用する場合などは，その出典を参考文献として明記するとともに，投稿内容に著作権の侵害がないことを著者ご自身で確認してください。**

なお，ＷＥＢで閲覧可能な地図等にも転載できないものがありますのでご注意ください。また，転載する場合の著作権許諾確認は，執筆者ご自身で行ってください。

６．原稿の取扱い

インターネットを使って申込みをしていただきます。原稿ファイルは申込時に添付ファイルで送信することになりますので郵送の必要はありません。ただし，何らかのトラブルで印刷原稿を郵送していただく必要が生じる可能性がありますので，原稿ファイルは削除しないで保存しておいてください。

７．原稿受付期間・提出先

受付期間：ホームページをご確認ください。

提 出 先：(公社)プレストレストコンクリート工学会

電子申込みページ　http://www.jpci.or.jp/

＊原稿は期限内に届くようにしてください。

＊電子受付であるため，締切直前はサーバが大変混雑することが予想されます。できるだけ早めの申込みをお願いいたします。

８．論文・報告・研究紹介の採否

「論文」・「報告」・「研究紹介」の採否については，シンポジウム実行委員会論文審査部会が審査を行い決定いたします。

９．著作権

論文集に登載が決定した時点で本学会へ著作権を譲渡していただきます。論文集に掲載された著作物の著作権（著作権法第27条，28条に定める権利を含む）は，この結果，本学会に帰属することになります。「著作権譲渡書」に必要事項を記入して提出をお願いします。なお，著作権譲渡書には著者全員の署名が必要です。**著者が複数名いる場合には，著作権譲渡書が複数枚となっても構いません。**

本学会は，著者自らが，著作物の全文または一部を複製，翻訳などで利用する場合は，その利用を妨げるものではありませんが，インターネットのホームページなどに全文を掲載する場合には，本学会への通知をお願いします。なお，本学会が第三者より著作物の全文または一部の複製利用の申込みを受けた場合には，とくに不適切とみなされる場合を除いて本学会の判断で許諾できるものとします。特別な事情により著作権の譲渡に承諾できない場合や，一部制約がある場合には，その旨を書面にてご提出ください。

※著作権法第 27 条，第 28 条

【翻訳権，翻案権等】
第27条　著作者は，その著作物を翻訳し，編曲し，若しくは変形し，又は脚色し，映画化し，その他翻案する権利を専有する。（翻案とは，原文献をアブストラクトとして取扱うことを意味する。）

【二次的著作物の利用に関する原著作者の権利】
第28条　二次的著作物の原著作物の著作者は，当該二次的著作物の利用に関し，この款に規定する権利で当該二次的著作物の著作者が有するものと同一の種類の権利を専有する。（二次的著作物に変わった場合においても，著作権は，もともとの著者にあることを意味します。例えば，文献をＣＤ－ＲＯＭにデジタル化した場合，ＣＤ－ＲＯＭは，パソコンを通してみることとなり，二次的な著作物となりますが，その著作権は，もともとの著者が所有していることを意味する。）

１０．問い合わせ先

ご不明な点がありましたら，下記の連絡先までお問合せください。

〒162-0821　東京都新宿区津久戸町４番６号
（公社）プレストレストコンクリート工学会　シンポジウム論文係
TEL 03-3260-2521　FAX 03-3235-3370

原稿区分『論文』の書式（1ページ目）

左余白
20 mm

右余白
20 mm

上余白
25 mm
柱が入ります

【題目】中央配置
ゴシック 12Point 全角３５字以内（二段配置，半角文字不可）

<空白行>

津久戸大橋の設計・施工

<空白行>

【執筆者名】
右詰め，ゴシック
10.5Point
所属は同一でも記入し，会員区分は正会員，学生会員のみ記入する。

津久戸建設(株)　正会員　工修　○津久戸　一郎
津久戸建設(株)　　工修　飯田橋　太郎
神楽坂建設(株)　学生会員　　神楽坂　花子

<空白行>

【原稿要旨 Abstract】
Times New Roman 10Point

Abstract：（コロンの後ろから書き始めてください）原稿区分が「論文」の場合，執筆者名の次の行を１行あけ，英文にて『Abstract』を記載してください。英文要旨は10行(概ね120単語)以内とし，書体はTimes New Roman 10ptとしてください。英文要旨の後にキーワードとなる英単語を3～4つ記載してください。

<空白行>

Key words： Manuscript , Writing point , Form

<空白行>

左詰め
ゴシック
10.5Point

1．はじめに

【本文】
明朝
10.5Point

このファイルは，プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウムへの投稿原稿作成時に，頁数や図表配置をわかりやすくするためのテンプレートです。原稿作成にご利用ください。

原稿は，PDFファイルで提出して頂きます。ファイルサイズは 3.0 ＭＢ以内とし，印刷した場合のページ数がＡ４判・４または６ページとなるよう原稿を作成してください。これを超えた原稿は受付けられません。また，投稿するファイルはPDF形式とし，圧縮ツールは使用しないでください。

句読点に注意

なお，Adobe Reader8.0以降のバージョンを用いて，執筆者の意図したとおりにPDFファイルの原稿が印刷されることを確認してください。特に，英文要旨の文字化けやフォント化け等の事例がありましたので，特殊文字などは使用しないように留意し，PDFデータ作成後に必ず原稿を確認してください。

PDF化にあたっての解像度の設定は制約を設けません。上記のファイルサイズ以内に納まる限り，執筆者の自由とします。また，原稿はカラーで作成して頂いて構いませんが，印刷版論文集は白黒印刷のため，白黒印刷で出力しても明瞭に確認できる配色にしてください。さらに，編集の障害となりますので，PDFファイルにパスワードの設定は絶対に行わないでください。このテンプレートは，著者3名が投稿する場合の例を示します。連名者は講演者を含めて最大４名までです。ページ設定は，本文の文字数が，48文字／行×42行／ページです。

2．図・表・写真のキャプション

図・表・写真のキャプションは，以下の例のように記載し，フォントはゴシック10.5ptとしてください。また，本文中の図－１，表－１，写真－１の表示もフォントをゴシック10.5ptとしてください。

ゴシック
10.5point

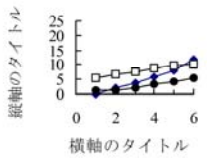

図-１　図キャプション配置

表-１　津久戸大橋の諸元

工事名	
発注者	
工事場所	
工期	
橋長	
有効幅員	
平面線形	
最大支間長	
縦断勾配	
横断勾配	

写真-１　写真配置の例

297 mm

注）点線の囲み枠は印字いただく範囲を示したものですので原稿には不要です．

下余白 20 mm
ページが入ります

210 mm

原稿区分『報告』・『研究紹介』の書式（1ページ目）

左余白
20 mm

右余白
20 mm

上余白
25 mm
柱が入ります

【題目】中央配置
ゴシック 12Point 全角３５字以内（二段配置，半角文字不可）

中央配置
明朝
10.5Point

左詰め
ゴシック
10.5Point

【執筆者名】
右詰め，ゴシック
10.5Point
所属は同一でも記入し，会員区分は正会員，学生会員のみ記入する。

<空白行>

津久戸大橋の設計・施工

<空白行>

津久戸建設(株)　正会員　工修　○津久戸　一郎
津久戸建設(株)　飯田橋　太郎
神楽坂建設(株)　学生会員　神楽坂　花子

<空白行>

キーワード：この行にキーワードを3～4つ，１行に収まるように記載してください。

<空白行>

1．はじめに

このファイルは，プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウムへの投稿原稿作成時に，頁数や図表配置をわかりやすくするためのテンプレートです。原稿作成にご利用ください。

報告および研究紹介の原稿は，PDFファイルで提出して頂きます。ファイルサイズは 2.0 ＭＢ以内とし，印刷した場合のページ数がＡ４判・４ページとなるよう原稿を作成してください。これを超えた原稿は受付けられません。また，投稿するファイルはPDF形式とし，圧縮ツールは使用しないでください。なお，Adobe Reader8.0以降のバージョンを用いて，執筆者の意図したとおりにPDFファイルの原稿が印刷されることを確認してください。文字化けやフォント化け等の事例がありましたので，特殊文字などは使用しないように留意し，PDFデータ作成後に必ず原稿を確認してください。

句読点に注意

さらに，編集の障害となりますので，PDFファイルにパスワードの設定は絶対に行わないでください。このテンプレートは，著者3名が投稿する場合の例を示します。連名者は講演者を含めて最大４名までです。会員の場合のみ会員区分を記入し，非会員の場合は空白としてください。ページ設定は，本文の文字数が，48文字／行×42行／ページです。

297 mm

【本文】
明朝
10.5Point

2．見出し

見出しは，「1.　大見出し」，「1.1　中見出し」，を基本とし，これ以下は「(1)　」を用います。さらに細かく分けたい場合には，「1.1.1　小見出し」を用いてから，「(1)　」を使用してください。これ以上の細分化を不可とします。見出しは左詰めとし，フォントはゴシック10.5ptとします。

1.　大見出し		1.　大見出し
1.1　中見出し	さらに細分化したい場合には	1.1　中見出し
(1)　小見出し		1.1.1 小見出し
		(1)　見出し

ゴシック
10.5point

3．図・表・写真のキャプション

図・表・写真のキャプションは，以下の例のように記載し，フォントはゴシック10.5ptとしてください。また，本文中の図－１や表－１，写真－１などの記載もキャプション同様にフォントをゴシック10.5ptとしてください。

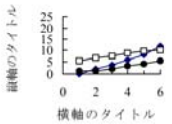

図-1　図キャプション配置

表-1　津久戸大橋の諸元

工事名	
発注者	
工事場所	
工期	
橋長	
有効幅員	
平面線形	
最大支間長	
縦断勾配	
横断勾配	

写真-1　写真配置の例

注）点線の囲み枠は印字いただく範囲を示したものですので原稿には不要です．

下余白
20 mm
ページが入ります

210 mm